

経営比較分析表（令和5年度決算）

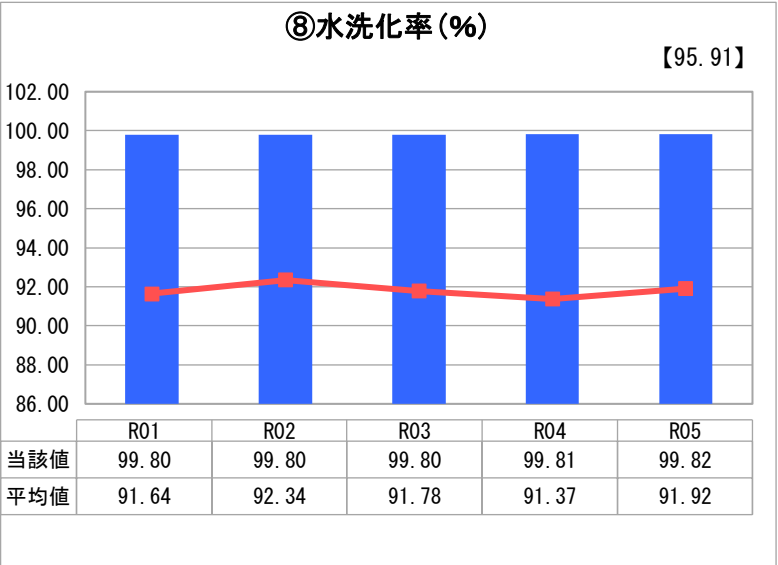
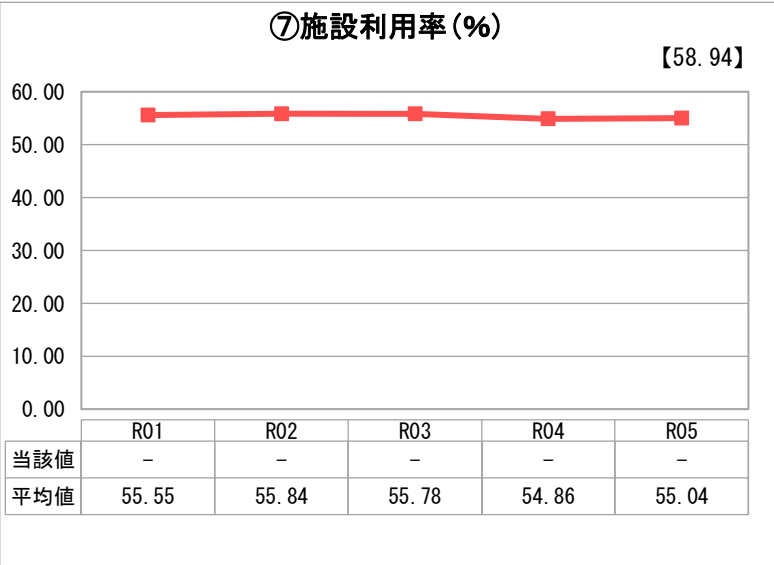
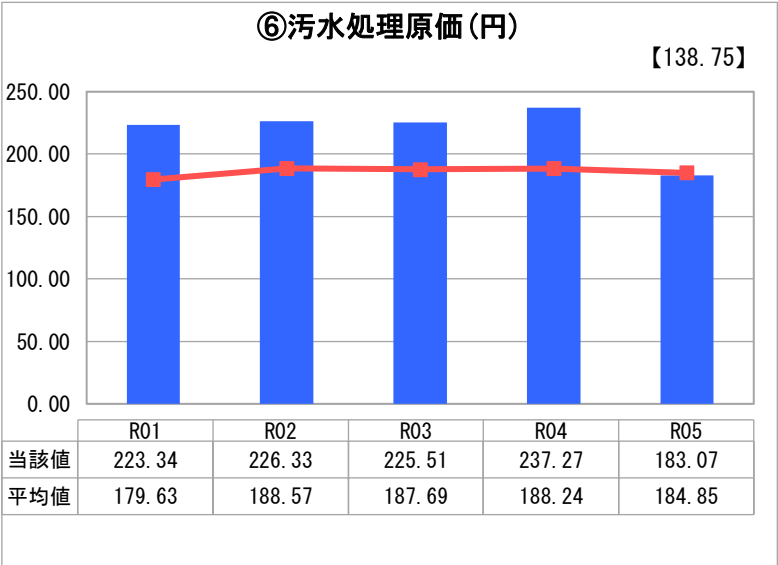
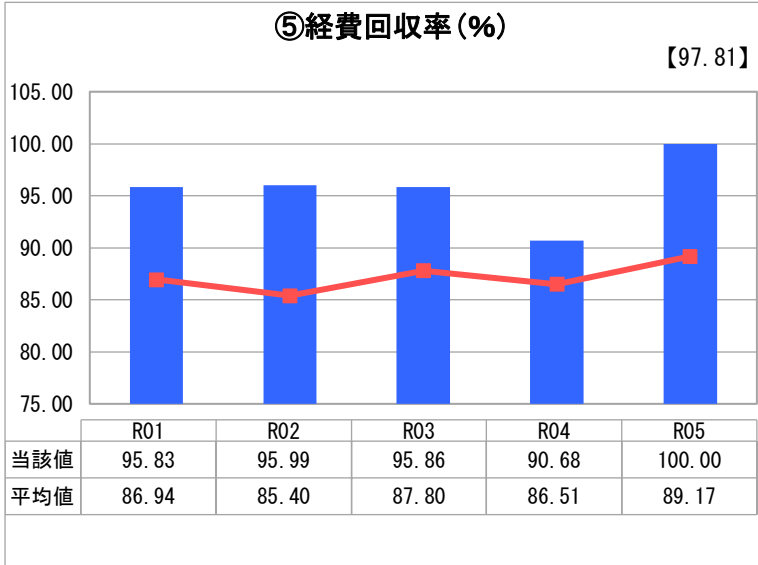
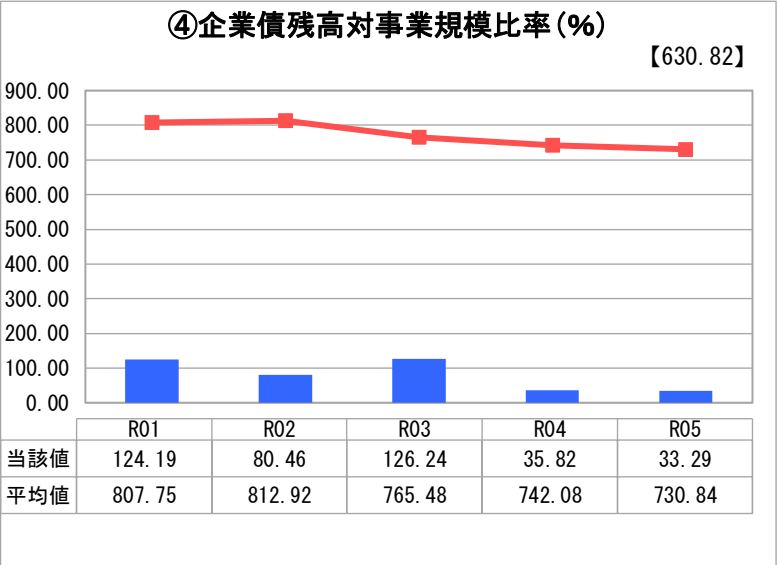
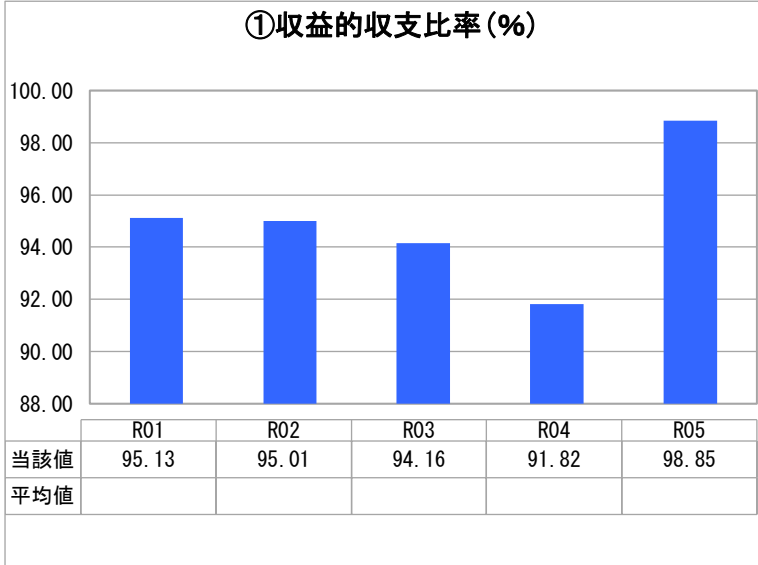
北海道 南幌町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	75.86	77.98	3,924

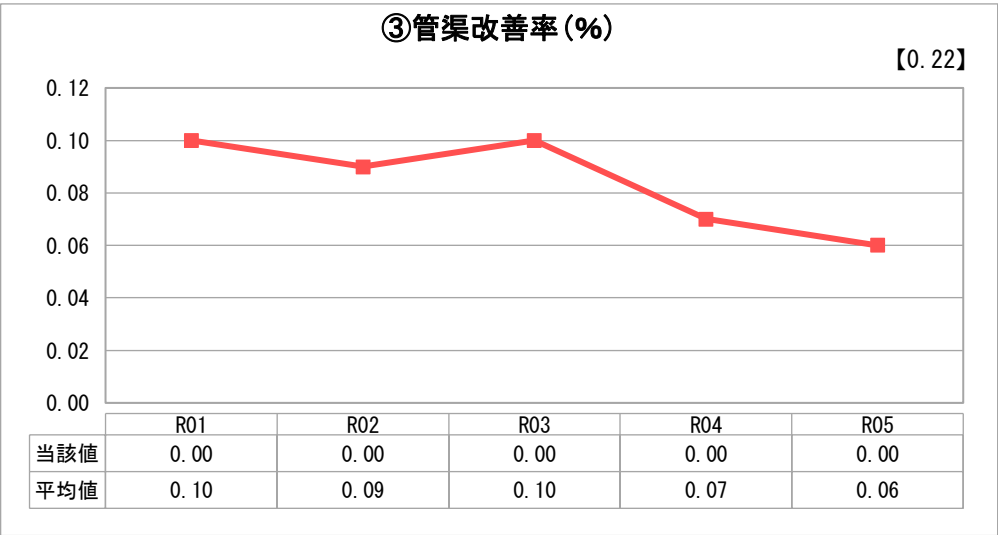
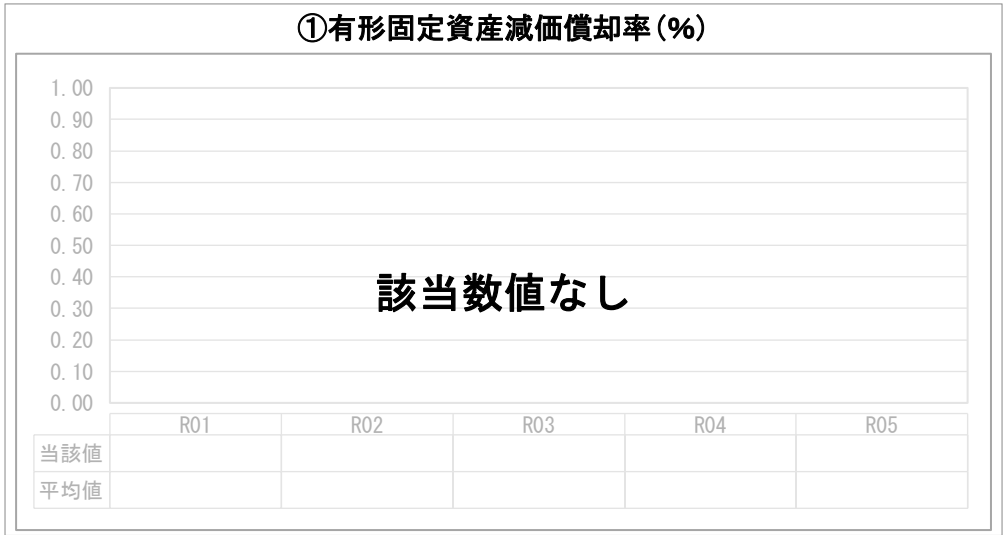
人口（人）	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,785	81.36	95.69
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,946	2.64	2,252.27

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度決算については企業会計以降に伴い打切決算としている。

①収益的収支比率
比率について、100%以下となっており、人口が増えているが節水器具等の普及により料金収入の増収を見込むことが難しい。

④企業債残高対事業規模比率
企業債残高については、企業債償還終了に伴い減少しているが、広域処理に係る建設費負担に対する新規借入、準工業用地等整備事業、下水道ストックマネジメント計画に基づく施設改修費用の借入を行っていく事から企業債残高は現在の状況より増加で推移していくと考えられる。

⑤経費回収率
回収率は、類似団体平均値と比較して高い数値で推移している。

⑥污水处理原価
污水处理原価は類似団体平均値と同推移ではあるが、未収金、未払金を含めると高めとなっており、有収水量に対して污水处理に係る経費が高くなっていることが考えられる。今後において計画的な補修や機器の更新により維持管理費等の削減の取り組みを行っていく必要がある。

⑧水洗化率
水洗化率について、約100%となっていますが今後もより良い生活環境の実現、水質保全に貢献するため、より一層水洗化の推進に努めます。

2. 老朽化の状況について

当町においては、昭和50年度より下水道事業を実施しており、最も老朽化の大きい管渠で布設から49年経過している事から、管渠の基準的耐用年数が50年である事を踏まえ、定期的な管渠調査や予防保全を行っていく事が必要と考える。

全体総括

南幌町の公共下水道事業においては、類似団体と比較すると、企業債残高対事業規模比率が低いにも拘らず污水处理費を料金収入で賄えてないのが現状であり、今後においては更なる経営改善に向けた取組を行っていく事が必要です。

また、汚水管渠・ポンプ施設についても老朽化が進んでいることを踏まえて、今後ストックマネジメント計画に基づき計画的な更新計画を検討していく事が必要と考える。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。